

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【公開番号】特開2003-45219(P2003-45219A)

【公開日】平成15年2月14日(2003.2.14)

【出願番号】特願2001-227187(P2001-227187)

【国際特許分類】

F 2 1 V 19/00 (2006.01)

G 0 3 F 7/20 (2006.01)

H 0 1 J 5/50 (2006.01)

H 0 1 L 21/027 (2006.01)

F 2 1 Y 101/00 (2006.01)

【F I】

F 2 1 V 19/00 3 1 0 Z

G 0 3 F 7/20 5 2 1

H 0 1 J 5/50 G

H 0 1 L 21/30 5 2 7

H 0 1 L 21/30 5 0 2 G

F 2 1 Y 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月16日(2008.7.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 口金から出ている導通用ワイヤを備え、該ワイヤの向きがランプ取り付け部材に対し所定方向になるように方向決めし固定するための方向決め固定手段を有することを特徴とする水銀ランプ。

【請求項 2】 前記方向決め固定手段は、前記口金と前記ランプ取り付け部材とが互いに係合する一方の突出部とこれを受け入れる他方の受け入れ部との嵌合関係によって所定方向決めを行うものであることを特徴とする請求項 1 に記載の水銀ランプ。

【請求項 3】 前記方向決め固定手段は、前記口金と前記ランプ取り付け部材とに設けた相互に対向する平らな面によって所定方向決めを行うものであることを特徴とする請求項 1 に記載の水銀ランプ。

【請求項 4】 前記方向決め固定手段は、前記口金と前記ランプ取り付け部材とに設けた位置合わせマークの位置を一致させて所定方向決めを行うものであることを特徴とする請求項 1 に記載の水銀ランプ。

【請求項 5】 請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の前記水銀ランプを備えることを特徴とする照明装置。

【請求項 6】 水銀ランプの口金から出ている導通用ワイヤの向きが一定方向になるように前記水銀ランプを固定する方向決め固定手段を有することを特徴とする照明装置。

【請求項 7】 前記方向決め固定手段として、水銀ランプ取り付け側口金及びランプ取り付け部材に回転拘束のための一方にピン及び他方に切り欠きを設け、前記ランプ取り付け部材に位置を合わせて固定する手段を有することを特徴とする請求項 6 に記載の照明装置。

【請求項 8】 請求項 5 ~ 7 のいずれかに記載の照明装置により所定のパターンを基板上

に露光することを特徴とする露光装置。

【請求項 9】 請求項 8 に記載の露光装置を含む各種プロセス用の製造装置群を半導体製造工場に設置する工程と、該製造装置群を用いて複数のプロセスによって半導体デバイスを製造する工程とを有することを特徴とする半導体デバイス製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明に係る水銀ランプは、口金から出ている導通用ワイヤを備え、該ワイヤの向きがランプ取り付け部材に対し所定方向になるように方向決めし固定するための方向決め固定手段を有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また、本発明に係る照明装置は、水銀ランプの口金から出ている導通用ワイヤの向きが一定方向になるように前記水銀ランプを固定する方向決め固定手段を有することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】